

パネルディスカッション

『リスクアセスメントを通じた「つながり」を考える』

事例紹介④ 配筋作業の一発施工

建設業の事例

改善のきっかけ

目 標

安全に、より良い品質を安く、早く

【建設業全体の課題】 人手不足、特に現場での技術者不足

土間の配筋作業

現場に鉄筋を搬入→鉄筋を配置→結束や固定
(加工必要)

【課題1】 人手の確保

- 施工面積が広くなれば、工期の関係上、相応の作業者の人数が必要

【課題2】 運搬作業

- 鉄筋を配置するため、重い鉄筋を運搬

▼
重作業が伴う

(規模が大きくなれば、作業員の負担は増加)

【課題3】 結束・固定作業

- 結束・固定箇所は、数百箇所
- 足元にあるので、毎回しゃがんで作業

▼
負荷の高い作業

改善の実施・効果

対策

ロールマット工法の採用



重機で所定位置にロールを配置



ロールマットを数名で転がして配筋

■ 改善の効果

POINT 技術者が不足している中でも、誰でもできる工法へ変更（建設業の課題に対応）

安全に

安全の向上

鉄筋の運搬や結束・固定作業の大幅な減少。
それに伴う災害リスクの解消。

より良い品質を

品質の向上

2次製品の使用により、適切な配筋間隔を確保

安く、早く

生産性向上・コスト削減

少人数、少ない工数で作業可能。従来比14日短縮。人件費削減。